

## 2023年度 産業保健研修のご案内(2024年2月～2024年3月)

島根産業保健総合支援センターでは、看護職・産業保健・労働衛生業務等に携わる皆様を対象に研修会等を開催しています。産業保健に関係するすべての方に対し専門的かつ実践的能力の向上を図ることを目的に実施するものです。新型コロナウイルス感染状況及び申込者が少ない場合など、研修会を中止する場合がありますのでご了承願います。

研修番号	日時	テーマ	講師・研修内容	会場	定員
35	2月8日 (木) 14:00～16:00	過重労働による健康障害防止対策	・磯村 実 産業保健相談員(島根大学 人間科学部人間科学科 教授) 働き方改革関連法の一環として行われた2019年の労働安全衛生法改正により、産業医の権限の強化を含めた過重労働による健康障害の防止対策が強化された。本研修では過重労働による健康障害について概説し、事業場が取り組む対策や産業医による面接指導について解説する。	石央文化ホール 【浜田市】	30名
36	2月15日 (木) 14:00～16:00	生活習慣病対策 - 労災二次健診の活用	・塩飽 邦憲 産業保健相談員(塩飽労働衛生コンサルタント事務所 所長) 定期健康診断は、労働者の健康状態を把握し、労働時間の短縮、作業転換等の事後措置を行い、脳・心臓疾患の発症の防止、生活習慣病等の増悪防止を図ることなどを目的としている。事業者は、健康診断結果に異常所見がある労働者について、健康保持に必要な措置について、医師等の意見を聴かなければならないことになっている。増加する生活習慣病の対策、また労災二次健診の活用について解説する。	労働会館 【松江市】	30名
37	2月21日 (水) 14:00～16:00	歯と口腔の健康管理	・辰巳 香澄 (医療法人大浜屋会 デンタル・アート・クリニック 院長) 経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)において、生涯を通じた歯科健診(いわゆる国民皆歯科健診)に向けた取組の推進の他、歯科に関わる内容が明記されました。口腔内の健康が全身の健康に関連していることへの関心は高まっているものの、歯科先進国と比べると定期的な歯科受診率は低く、特に働き盛りの世代での受診率の低さが課題となっています。本研修では、医療職の連携推進による歯と口腔の健康管理について解説します。	出雲市民会館 【出雲市】	30名
38	2月24日 (土) 14:00～16:00	障害のある人への合理的配慮について	・名越 究 産業保健相談員(島根大学 医学部医学科環境保健医学講座 教授) 令和6年4月1日から障害のある人への合理的配慮の提供が義務化され、事業者は雇用している人に対して合理的配慮が求められます。「合理的配慮」の内容は、障害特性やそれぞれの場面・状況に応じて異なります。本研修では、産業医として知っておくべき「合理的配慮」について解説します。	出雲市民会館 【出雲市】	30名
39	2月29日 (木) 14:00～16:00	ILO国際じん肺分類2022と国際HRCCT分類(ICOERD)を用いたじん肺読影実習	・田村 太郎 産業保健相談員(島根大学 医学部医学科環境保健医学講座 准教授) 日本で用いられているじん肺のレントゲン分類の元になった国際労働機関のじん肺写真も昨年ようやくデジタル版が公表された。直接標準写真としてCTは取り込まれていないが、国際的にも実臨床ではCT、特にHRCCTは呼吸器疾患の評価に重要な位置を占めている。今回ILO分類とCT分類を概説し、標準写真や症例のレントゲン、CTを実際に読影することでじん肺の画像所見や病態について解説する。	労働会館 【松江市】	20名
40	3月2日 (土) 14:00～16:00	働く世代での肥満の現状	・山崎 雅之 産業保健相談員(島根大学 人間科学部人間科学科 准教授) 働く世代での肥満やメタボリックシンドロームの改善が叫ばれて久しいが、最新の国民健康・栄養調査によれば、肥満者の割合は減少しておらず増加している。特に男性で40代、50代が約4割、60代でも3.5割がBMI≥25の肥満と判定されている。女性では50代が2割、60代が約3割となっている。これらの結果は健康経営の観点から非常に憂慮すべきことである。このような現状に対して、近年では食習慣、運動習慣の改善の妨げとなっている要因やこれらの健康習慣に対する嗜好性といった行動習慣の調査、研究に注目が集まっている。本研修会では、最新の行動習慣を絡めた肥満研究を紹介する。	朱鷺会館 【出雲市】	30名
41	3月9日 (土) 14:00～16:00	生涯にわたる男女の健康の包括的支援～不妊治療・妊娠出産・男女における更年期障害～	・皆本 敏子 (島根大学 医学部産科婦人科学講座 講師) 男女ともに年齢に応じた体調の変化、ライフイベントをどのように支援し、離職予防や生産性の向上へつなげていくのが社会的な課題となっている。女性の場合は月経関連・不妊・妊娠・出産・更年期障害と様々な問題を抱えている。男性においても壮年期における更年期障害が近年問題になっており、うつと誤認されるケースも少なくない。これらのケースは「生理的あるいは加齢による変化」として職場からは無視され、苦しむ患者の割合は7割以上とも言われており、職場における生産性の低下にもつながっている。男女すべての健康をいかに支えていくのか病院での取り組みだけでなく、行政における支援策も含めて解説する。	労働会館 【松江市】	30名

## 研修会申込書

FAXでお申し込みの場合は、下欄にご記入のうえ当センターまで送付願います。(ウェブサイトや右のQRコードからもお申し込みいただけます。お申込み後にキャンセルされる場合は、早めに連絡を頂きますようお願いいたします。(研修会当日の急なキャンセルについては除き)



希望研修番号				島根産保 検索
氏名	職種 (○で選択)	1.医療職 2.産業看護職 3.衛生管理者 4.人事労務担当者 5.事業主 6.労働者 7.その他( )		
勤務先 (名称・所在地)	TEL	( )	-	(自宅・勤務先)
	FAX	( )	-	(自宅・勤務先)

※ 島根産業保健総合支援センターの電話番号及びFAX番号 TEL:0852-59-5801 FAX:0852-59-5881

※ 最新の研修案内をメールマガジンで配信しています。メールマガジンの登録は当センターのウェブサイトからお申し込みください。

※ 本用紙に記載された個人情報、産業保健活動総合支援事業の目的以外には使用いたしません。